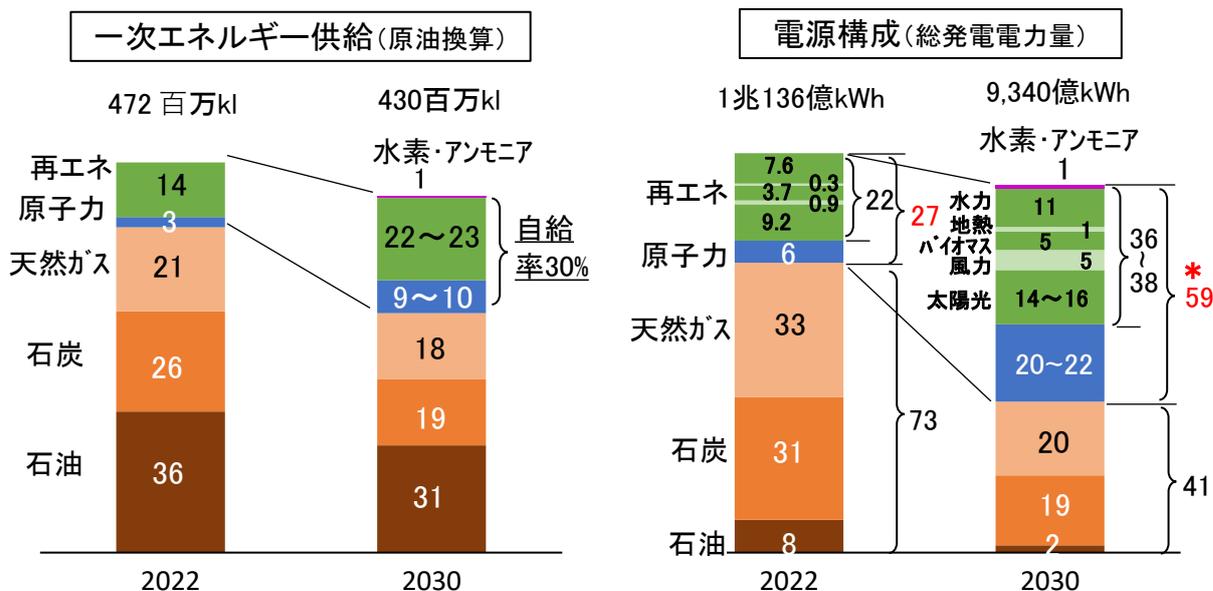


Ⅲ-3-⑦2030年の一次エネルギー供給及び電源構成内訳

人口減少や新型コロナの影響等もあり、2030年には一次エネルギー供給や総発電電力量は減少すると推定されています。



出典: 日本のエネルギー2023/2 P9 ※: 発電時にCO2を排出しないゼロエミッション電源(再エネ、原子力、水素・アンモニア)が急拡大(27%→59%)

2030年の一次エネルギー供給及び電源構成内訳

【表にすると】

	2022年	2030年
水素・アンモニア	—	1%
火力発電	72%	41%
原子力発電	6%	20~22%
水力発電	8%	36~38%
その他再エネ(太陽光、風力など)	14%	

出典: 資源エネルギー庁

2030年電源構成目標

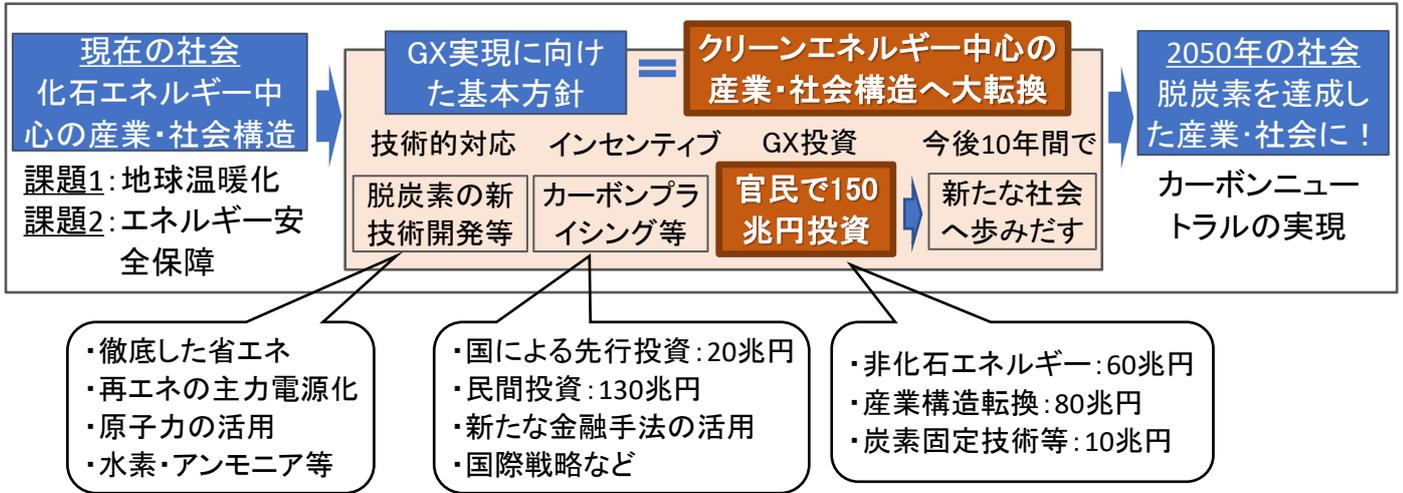


出典: 日本のエネルギー2024/2 P5

エネルギーを考える基本

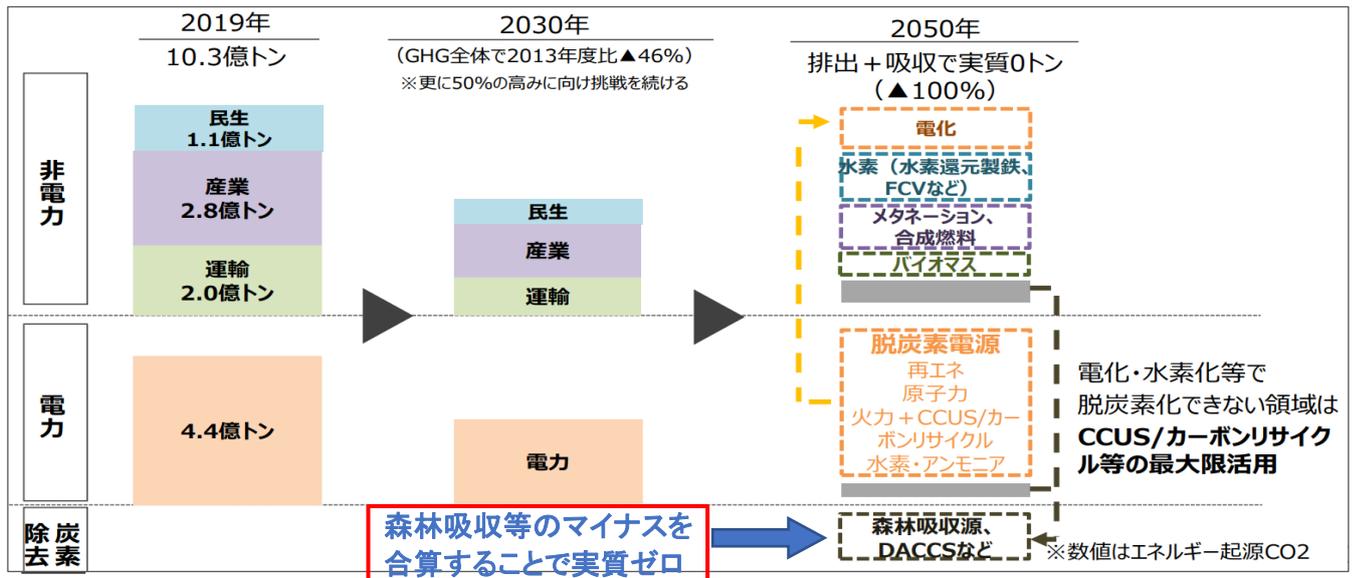
【参考】

現在進められている、世界規模での地球温暖化・エネルギー安全保障対策として、我が国は、GX(グリーントランスフォーメーション)の実現へと大きく方向転換しています。
2050年に向け、新たに「クリーンエネルギーが中心となる社会」の構築を目指しています。



出典: GX推進戦略

2050年に向けての脱炭素化のイメージ図1



出典: 資源エネルギー調査会資料 P3

(2023/1/4総合資源エネルギー調査会水素政策小委中間整理)

2050年に向けての脱炭素化のイメージ図2